

アセビ (馬酔木) ①

[ツツジ科] 常緑低木～小高木

2, 3月頃、つぼ形の白い小さな花をたくさん咲かせます。ピンク色の栽培品種もあり庭木としても利用されます。全体に毒成分が含まれていて、これを食べた馬が酒に酔ったようになるので「馬酔木」と書きます。自然農薬としても使われます。



ヤブツバキ (藪椿) ②

[ツバキ科] 常緑小高木～高木

11月～4月頃と花の咲く期間が長く、ツヤのある葉と赤い花が特徴的な樹木です。サザンカに似ていますが、サザンカは花びらが一枚ずつはらはらと落ち、ヤブツバキは花一輪がそのまま落ちます。ヤブツバキの実から取れるツバキ油は、高級化粧品や食用などに利用されます。



ヒサカキ (姫桐) ③

[サカキ科] 常緑小高木～低木

3月頃、黄白色の小さな花が枝の下側にたくさん咲き、独特の香りを放ちます。葉の先端が少しくぼむのが特徴で、秋には青紫の実がなります。濃い紫色の果汁は染料に、枝は神事や仏事にも使われます。



クロモジ (黒文字) ④

[クスノキ科] 落葉低木

4月頃に黄色い花を咲かせ、秋には美しい黄葉も見られます。樹皮には所々黒い模様があり、葉や枝は良い香りがします。枝は和菓子の楊枝などに利用されています。



ツルシキミ (蔓椿) ⑤

[ミカン科] 常緑低木

4, 5月頃、良い香りのする白い花を咲かせ、葉をちぎると柑橘系の匂いがあります。ツルシキミは少し背が高くなるミヤマシキミの変種となります。多雪地に適応して地を這う様子から「ツル」という名がつきました。秋に赤い実がなりますが、有毒植物ですので食べられません。



コバノミツバツツジ ⑥

(小葉三葉躑躅)

[ツツジ科] 落葉低木

4月頃、森の中に点々と紅紫色の花の集団がよく目立ちます。花が咲き終わってから枝先に葉が3から5枚が輪生します。公園には、よく似たダイセンミツバツツジもあります。

ヤマザクラ (山桜) ⑦

[バラ科] 落葉高木

4月頃、花と赤い若葉が同時に開きます。日本のサクラの野生種は10種ほどしかありませんが、その中の一種です。木工製品の「カバ細工」はヤマザクラの樹皮を使います。葉の柄にある膨らんだところを蜜腺といい、アリを集めて葉を食べる虫から守ってもらいます。



ウワミズザクラ (上溝桜) ⑧

[バラ科] 落葉高木

4月頃、白い小さな花が集まってブラシ状に咲きます。花が開く前の蕾(つぼみ)を塩漬けたものを杏仁子(アンニンゴ)といい、酒の肴や料理に使います。お茶にしても美味しいです。



ザイフリボク (採振木) ⑨

[バラ科] 落葉小高木

4月頃、枝先に白い花を集めて咲かせます。花は独特の匂いがします。秋に黒紫色の小さな梨のような形をした実をつけます。花の様子が戦場で大将が振る采配に似ているので「ザイフリボク」といわれます。



コナラ (小楠) ⑩

[ブナ科] 落葉高木

5月頃に枝先に黄緑色の長く垂れ下がった花を付けます。秋に実るドングリは、色々な野生動物にとって重要な食料となります。材はシイタケ栽培の原木や薪炭として使われます。特に木炭は、かつてこの地方の「たたら製鉄」を支えた燃料ともなりました。人々の生活に関わり深く利用されてきた樹木です。



コバノガマズミ (小葉英庭) ⑪

[レンブクソウ科] 落葉低木

5月頃、白い小さな花をたくさん咲かせます。葉の両面に毛があり手で触るとよく分かります。秋に赤く熟した実は少し酸味があり、果実酒などに利用されます。公園にはよく似たガマズミもありますが、名の一部に「小葉(こば)」とつくように、ガマズミより葉が比較的細長く、先端が尖った楕円形なので区別が出来ます。



コックバネウツギ ⑫

(小衝羽根空木)

[スイカズラ科] 落葉低木

5月頃、黄白色の花を咲かせます。花のがく片の数が2～3個で、葉のふちには不揃いな鋸歯があるか、または全縁です。同じ仲間のツクバネウツギは、がく片が5個で葉の鋸歯がはっきりしていることで区別できます。

アカメガシワ (赤芽柏) ⑬

[トウダイグサ科] 落葉高木～小高木

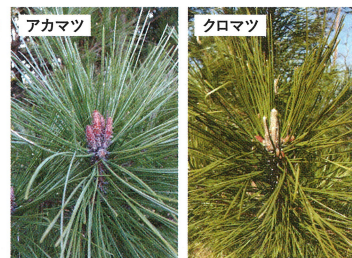
6月頃、別々の樹に雌花と雄花を咲かせます。葉身の基部に蜜腺があり、葉っぱの上をアリが歩いている姿をよく見かけます。若葉が赤く、カンワ(柏)の葉の代用として柏餅を作ったことからこの名になったという説があります。葉や樹皮は生薬として利用されます。



アカマツとクロマツ (赤松・黒松) ⑭

[マツ科] 常緑高木

花は4, 5月頃新しい枝に雄花を多数、先端に雌花を数個付けます。新芽が赤く葉が柔らかいものがアカマツ、新芽が白く葉がかたいものがクロマツです。一般的に山地にはアカマツ、海岸部にはクロマツが多くあります。クロマツは島根県の木として指定されています。



ナツハゼ (夏植) ⑮

[ツツジ科] 落葉低木

5月頃、下向きに小さな花をつけます。春先の葉は薄紫色をしています。秋に熟した黒い実は甘酸っぱく、食べることができます。秋の紅葉時期だけでなく、夏にも赤い葉が混じるので、この名になりました。ハゼとついていますが、ツツジの仲間ですのてかぶれることはありません。

